3年次演習・4年次演習　合同合宿の進め方

2014年7月2日松尾慎

大前提：この合同合宿は、大学に届けを出し、大学の行事（ゼミ合宿）として行います。それは万が一何らかの事故があった場合の保証を考慮してのことです。ですから、内容にお楽しみ部分が含まれているのは構いませんが、大学の行事として考えた際に著しく内容が逸脱しているものは問題があります。この点は自分たちでよく考えて判断してください。

基本的な流れ：個人、あるいはグループ（3名以内）で企画を立案し、説明会で説明を行った後、投票して決める。グループを3名以内にするのは、ここで例えば10名で立案されていれば、それだけで10票入ってしまう可能性があるためです。それを避けるために3名以内とします。ゼミ長や合宿係を含めて誰でも企画を出せることとします。

企画案提出締切日：7月11日金曜日5限終了時間までに、添付ファイルにて松尾まで送付すること。締め切りは厳守です。ファイルを受け取り後、必ず返事をしますので確認してください。松尾からの返事がなければファイルが届いていないということです。

企画案の開示:7月11日の20時までに松尾のHPの3年次演習の部分に提出された企画案をpdfファイルにして掲載します。全員が全部をチェックすることをルールとします。

説明会及び投票：7月15日火曜日　昼休み（12時35分から13時5分）教室は、0101教室。0101教室は本館（正門を入って正面に見える建物）の一階の教室です。各企画に与えられる説明時間と質疑応答に関しては、提出される企画数が確定する7月11日の夜にメーリングリストにて伝えます。説明会はお昼ごはんの持ち込み可です。

※説明にパワーポイントなど使用するのは構いませんが、機材の確保やセッティングなどは自己責任で行ってください。セッティングも持ち時間に含めますので注意してください。細かいことですがオフィスは11時25分から12時25分頃までは閉室していますのでパソコンはその間、借りられません。

投票に関し：

1）信任投票制とします。これは、どれか一つの企画を選ぶのではなく、提出された企画個々に信任するかどうかを投票することです。すべてを信任することもできますし、すべてを不信任にすることもできます。
2）原則的にゼミ生全員が説明を聞いて投票することとします。7月15日の昼休みにどうしても出席できない学生は予め、松尾に連絡した上で、説明に先立って松尾に信任投票の結果を伝えてもらいます。個別に連絡をしてください。説明会に欠席した学生の説明会後の投票は認めません。
3）松尾も参加者として投票に参加します。
4）信任数が投票者の過半数を超え、なおかつ信任数がもっとも多かった企画を採用します。
5）企画が一つしか提出されなかった場合も信任投票を行い、原則的には投票数の過半数を超えれば採用することとします。
6）二つ以上の企画が同票で並んだ場合には、松尾が一票を投じ、いずれかの企画に決定します。原則、大学行事であるとの趣旨からご理解いただければ幸いです。

７）開票は松尾が行います。票数の結果は伝えず、結論のみ伝えます。票数に関する開示請求をしたい学生がいる場合には今後考えますが、15 日当日には開示をしません。

企画案の内容：

１）企画案は A4 で 2 ページまでに収めることとします。
２）企画者の名前を記載してください。
３）説明会に参加できない学生は、この企画案を見ることによって信任投票をしますので、具体性がある魅力的な企画書とした方がいいです。
４）行き先（宿泊施設名も書くこと）を記載すること。HP がある場合には URL も記載すること。なお、行き先に対しては、宿泊可能であるのか必ず問い合わせを行った上で、企画案を提出すること。
５）おおよその総予算を記載すること。当然、行き先からの見積もりを取っているのが前提となる。交通費に関しては、西荻窪駅発と仮定して書くこと。いくつかの経路がある場合には、複数書くことを勧めます。予算に関しては、できれば、何にいくらかかるのか細かく書いた方がいいです。項目としては、晩ご飯、朝ごはん代や会議室使用料、夜の宴会費用など（もし、バーベキューなどをするならその費用も）も含めること。また、講師を招く場合の謝金などもおおよそ概算を立てること。
６）日程案：おおよその日程案を記載すること。アクティビティに関してもできる限り具体的に書くこと。細かいスケジュールに関しては、企画が決定後、合宿係を中心に議論を重ね最終的に決めていくこととするので、企画案の時点では、未定の時間があっても構わない。ただし、あまり未定が多すぎると説得力のある企画にはならないので注意すること。また、原則的に、2 日目はお昼前後には解散とする。解散後に有志で何かアクティビティをすることは自由ではあるが、ゼミ合宿終了後のアクティビティによる事故に対しては保険の対象とはならないことを留意すること。
７）キャンセルに関し：最初からキャンセルが出るのを前提とはしたくないが、突然の所用で参加できなくなる場合を考え、キャンセル規定が企画案に記されているのが望ましい。
８）企画案に写真を掲載するのも自由。
９）松尾は、おそくとも新宿発の場合、10 時発の特急電車で松本（12 時 31 分着）に向かう必要があります。合宿の行き先によっては立川、八王子、大月、甲府から特急に乗ることもできます。合宿の行き先によっては、残念ですが 9 月 17 日には宿泊せず、東京（西荻窪）に戻る可能性もあります。松尾が 17 日に東京に戻らなければならない場合、大学への届けが出せないことになります。届けを出さなくても合宿は行えますが、大学側は一切の責任を負えなくなりますので、この点をご理解いただきたいです。
１０）　企画案立案の相談には随時応じます。お問い合わせください。

企画決定の通知：

7 月 15 日火曜日の 4 限と 5 限の授業時間内に伝えます。

企画決定後：

１）第一に全員が結果を尊重すること。これは必ず守ってほしいです。
２）企画立案者に各種情報を提示してもらった後、合宿係を中心に準備を進めていくこと。しおりなど作成するのかどうかを含めて進めていくこと。すぐに夏休みに入るので夏季休暇期間の連絡体制など整えておくこと
３）できる限り、キャンセルは控えること